



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月3日

上場会社名 株式会社ダイショー 上場取引所 東
コード番号 2816 URL <https://www.daisho.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役会長（氏名） 松本 洋助
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 矢野 宏一（TEL） 092-611-9340
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第1四半期の業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,310	8.3	21	4.4	24	△4.4	21	106.0
2023年3月期第1四半期	4,903	△2.6	21	△85.8	25	△83.2	10	△89.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	2.22	—
2023年3月期第1四半期	1.08	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	15,325	9,043	59.0
2023年3月期	15,352	9,090	59.2

（参考）自己資本 2024年3月期第1四半期 9,043百万円 2023年3月期 9,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	9.00	—	9.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,300	3.1	150	△46.6	150	△47.8	100	△44.4	10.36
通期	24,300	4.0	740	52.7	740	48.7	460	47.9	47.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	9,868,800株	2023年3月期	9,868,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	216,088株	2023年3月期	216,088株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	9,652,712株	2023年3月期1Q	9,652,712株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、賃上げなどを背景に雇用・所得環境は改善し個人消費は持ち直しているものの、資源・エネルギー価格の変動には引き続き注視する必要があるとあり、景気の先行については不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、上昇する原材料価格や労働コストへ対応するために、依然として製品への価格転嫁が続いており、企業運営の正常化には厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社は、2025年3月期までの中期経営計画に沿い、次世代を切り開くダイショーらしさを確立し、企業価値の向上をめざして、成長を持続させてまいります。特に今期は、適正な価格を意識し付加価値のある製品開発や価格改定を軸とした収益力の改善に取り組んでおります。

製品群別の概況は、以下のとおりであります。

液体調味料群の小売用製品においては、主力製品の「焼肉のたれ」類が順調に売上を伸ばすなか、『おいしくお野菜♪ カプレーゼ風トマトサラダ用セット』や『レモンチキンソテーの素』などの新製品が好調に推移しました。特に、北海道味噌にとんこつのうまみとごま油の風味を加えた「濃厚味噌だれ」と「にんにく辛玉だれ」が特徴の『名店監修 すみれ味噌仕立て油そばの素』が大きく売上を牽引しました。業務用製品では、ガーリック、醤油、カレー、トマト、バジル、レモンなど様々なフレーバーで展開しているオイルソース類が、精肉向けを中心に売上が増加しました。この結果、売上高は36億45百万円（前年同期比109.7%）となりました。

粉体調味料群においては、今年発売55周年を迎えた『味・塩こしょう』シリーズについて、有名タレントを起用したWeb、テレビCM、店頭でのPRを展開しました。さらに、米麴と利尻昆布を加えまろやかな旨みを効かせた『味・塩こしょう 麴入り』を新しく投入するなど、販売促進に努めました。この結果、売上高は10億53百万円（前年同期比106.5%）となりました。

その他調味料群においては、『5つの味のスープはるさめ』をはじめとした「スープはるさめ」シリーズが好調に推移しました。この結果、売上高は6億11百万円（前年同期比103.4%）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は、53億10百万円（前年同期比108.3%）となりました。利益につきましては、営業利益は21百万円（前年同期比104.4%）、経常利益は24百万円（前年同期比95.6%）、四半期純利益は21百万円（前年同期比206.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ27百万円減少し、153億25百万円となりました。固定資産が総資産の54.2%を占め、流動資産は総資産の45.8%を占めております。資産の変動は、主に「商品及び製品」が5億円増加し、「現金及び預金」が3億9百万円、「受取手形及び売掛金」が87百万円減少したことによるものです。

負債は、前事業年度末に比べ19百万円増加し、62億81百万円となりました。流動負債が負債合計の69.4%を占め、固定負債は負債合計の30.6%を占めております。負債の変動は、主に「買掛金」が2億68百万円増加し、「賞与引当金」が2億4百万円減少したことによるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ47百万円減少し、90億43百万円となりました。純資産の変動は、主に剰余金の配当86百万円の支出と四半期純利益21百万円の計上により「利益剰余金」が65百万円減少したことによるものです。自己資本比率は59.0%となり、前事業年度末に比べ0.2ポイント下降しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

「2023年3月期 決算短信」（2023年5月12日に公表）において発表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産または流動負債として繰り延べる方法を採用しております。

②税金費用の計算

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,196	1,887
受取手形及び売掛金	3,071	2,983
商品及び製品	1,134	1,634
原材料	421	397
その他	100	121
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	6,916	7,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,418	2,381
土地	2,801	2,801
リース資産(純額)	808	763
その他(純額)	1,039	982
有形固定資産合計	7,068	6,929
無形固定資産	85	77
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,286	1,306
貸倒引当金	△4	△5
投資その他の資産合計	1,282	1,301
固定資産合計	8,436	8,308
資産合計	15,352	15,325

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,051	2,320
未払金	1,275	1,282
未払法人税等	71	35
賞与引当金	445	241
その他	459	483
流動負債合計	4,302	4,362
固定負債		
退職給付引当金	521	529
長期末払金	704	703
その他	733	686
固定負債合計	1,959	1,919
負債合計	6,262	6,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	7,879	7,814
自己株式	△114	△114
株主資本合計	9,015	8,950
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	75	93
評価・換算差額等合計	75	93
純資産合計	9,090	9,043
負債純資産合計	15,352	15,325

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	4,903	5,310
売上原価	2,942	3,285
売上総利益	1,960	2,024
販売費及び一般管理費	1,939	2,002
営業利益	21	21
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	1	1
不動産賃貸料	1	1
その他	4	3
営業外収益合計	7	6
営業外費用		
支払利息	3	4
その他	—	0
営業外費用合計	3	4
経常利益	25	24
税引前四半期純利益	25	24
法人税、住民税及び事業税	14	2
法人税等合計	14	2
四半期純利益	10	21

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。